

ONKYO.

A decorative graphic consisting of several overlapping, wavy blue lines that flow from left to right across the middle of the page. The lines vary in opacity and color, creating a sense of movement and depth.

第1四半期
～2020年3月期 第1四半期決算ハイライト～

2019/8/14
オンキヨー株式会社

■ 2020年3月期 第1四半期決算概要

2020年3月期 第1四半期 決算ポイント

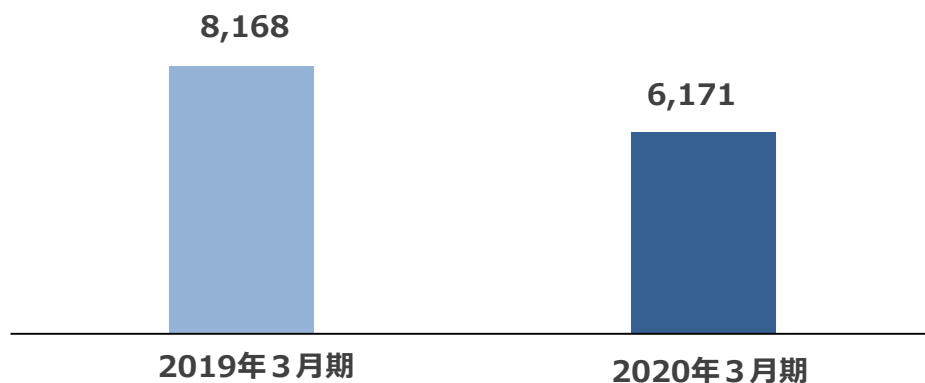
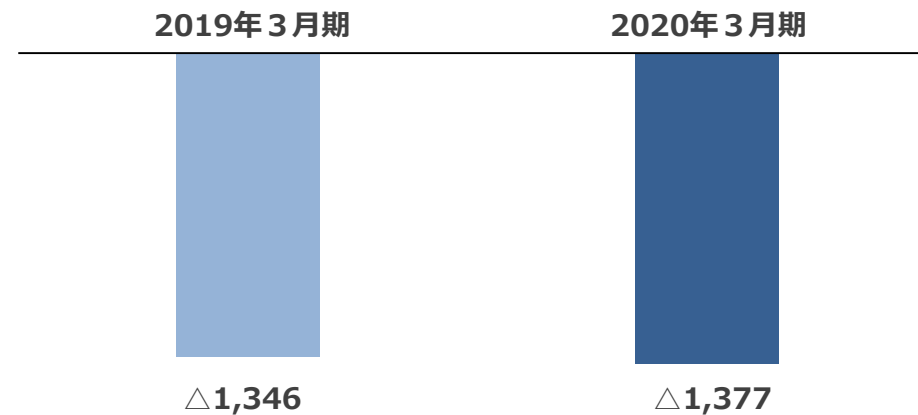
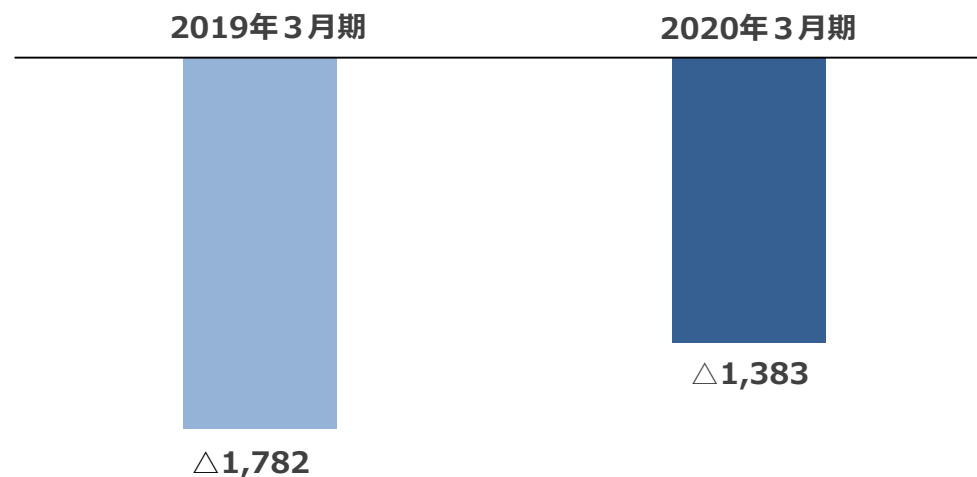
- **インド合併会社の操業度改善、生産・販売規模の向上、固定費の削減効果により損益改善**
- **A V市場の縮小、欧州子会社の譲渡に伴う外部売上高の減少**
- **ワイヤレスイヤホン等高付加価値製品の販売堅調**
- **ブランドコラボ製品の受注好調、ゲーミングヘッドセット・U S Bコントロールアンプの受注好調**
- **車載用スピーカー、サブブランド付テレビ用スピーカーの販売好調**



A V事業は減収、減益となったものの、O E M事業において増収、増益、デジタルライフ事業において、増益

2020年3月期 第1四半期 連結業績

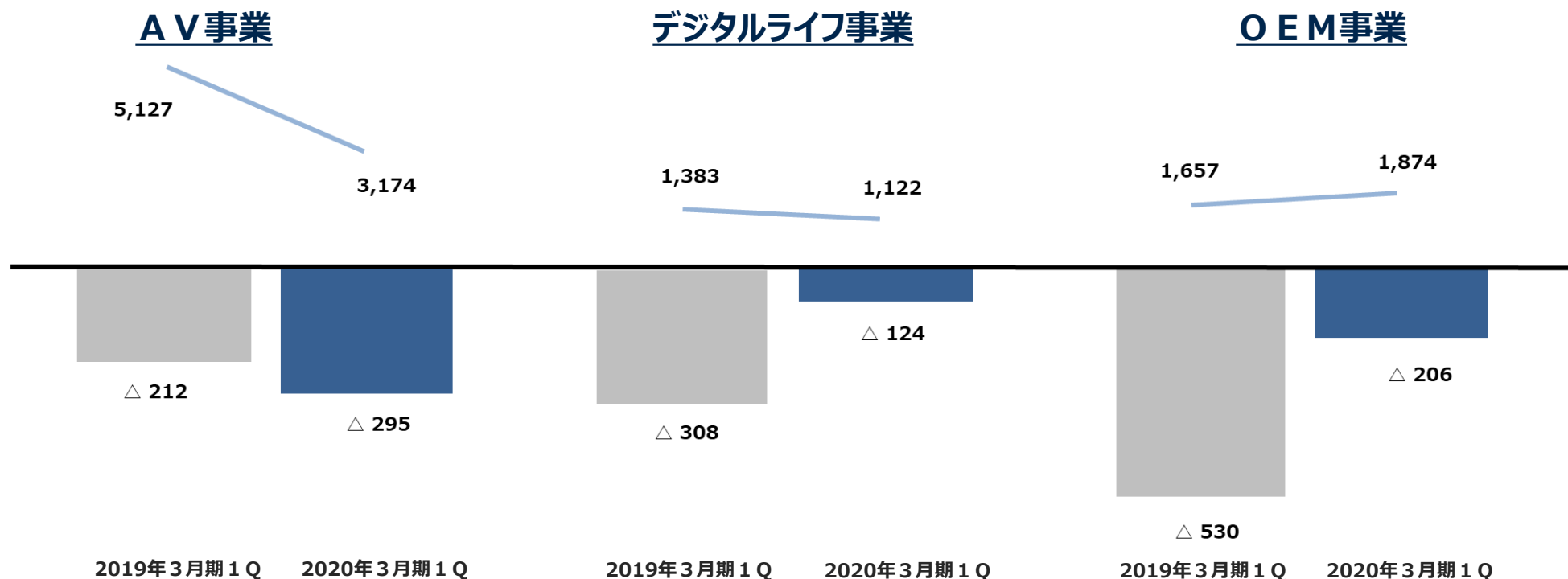
単位：百万円

売上高営業損益経常損益

セグメント状況 累計

単位：百万円

売上高
セグメント損益



■ AV事業

全世界的なホームオーディオ市場の縮小や欧州子会社の譲渡に伴う外部売上高の減少により前年同期より減収。
損益においても売上高減少による利益減が響く。

■ デジタルライフ事業

AV事業同様に欧州子会社の譲渡に伴う外部売上高の減少影響等により減収。
高付加価値モデルの販売増や不採算モデルの処分が完了したことから、前年同期より損益改善。

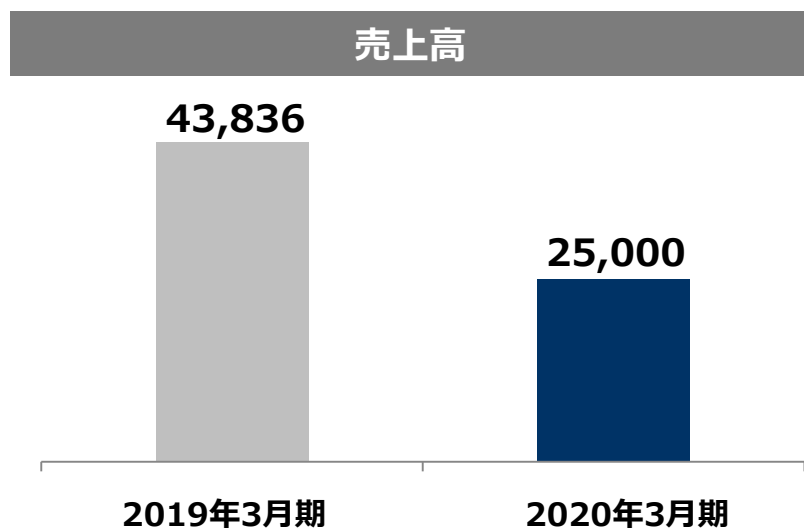
■ OEM事業

車載スピーカーやサブブランドでの販売が堅調に推移したことから、売上高は増加。
構造改革による固定費の削減、インド工場における生産コスト改善等により、前年同期より損益改善。

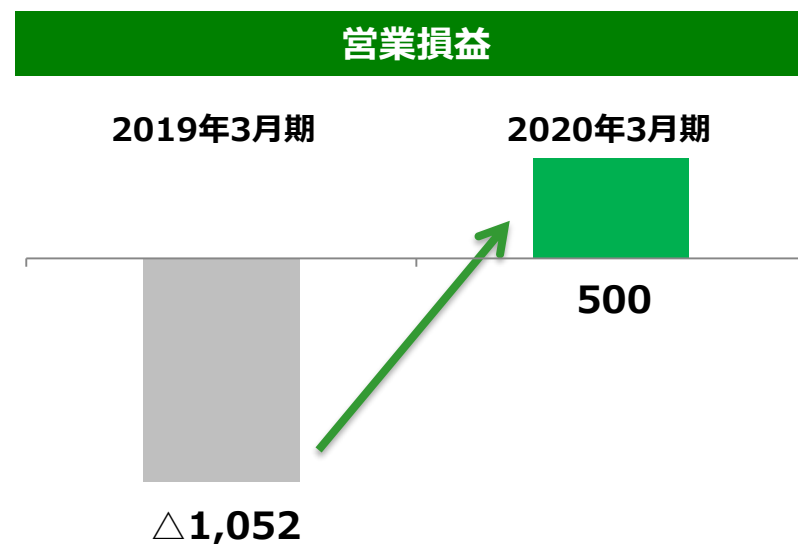
2020年3月期 連結業績予想

単位：百万円

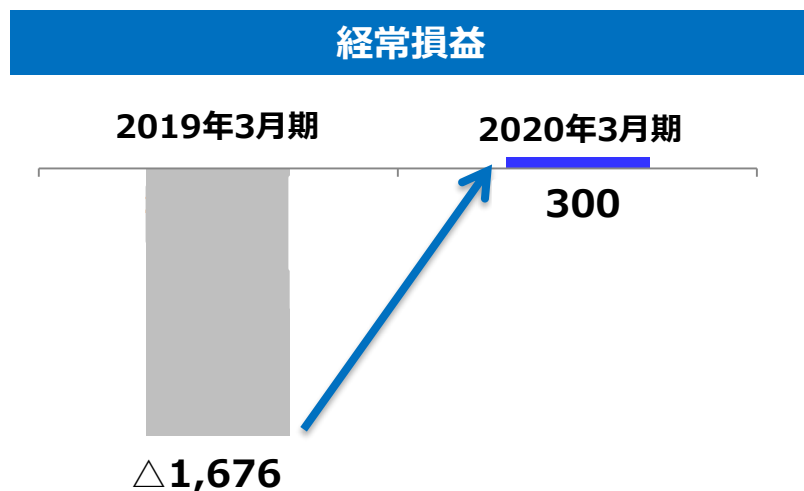
売上高



営業損益



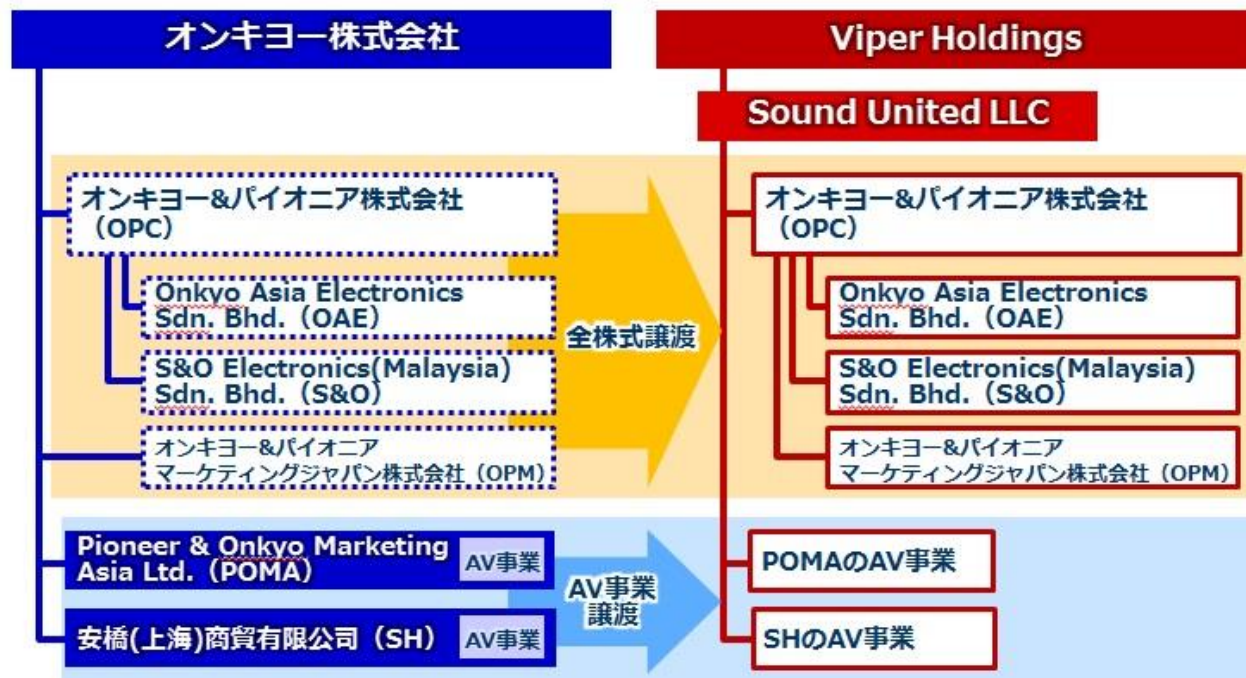
経常損益



ホームAV事業譲渡の時期は未確定のもの、今後のコア事業となるOEM事業及びデジタルライフ事業は、第1四半期において前年同期より増益であり、業績予想は営業利益5億円を据え置く

※当期純利益につきましては、現時点で予定されている譲渡時点での資産・負債が確定していないため開示しておりません

ホームAV事業譲渡の経過について



5月21日 譲渡契約締結

6月26日 株主総会決議

7月19日 (開示事項の経過・変更)子会社の異動を伴う株式譲渡及び子会社の一部事業譲渡にかかる契約締結に関するお知らせ」

譲渡実行日を「7月中旬(予定)」から「確定次第速やかにお知らせ」に変更。

現在の状況

- 関係する他の当事者の同意取得など、最終調整中

■ 今後の成長戦略

成長に向けた取り組みについて(OEM事業)

OEM事業強化

インド工場生産拡大

OEM用スピーカー受注好調

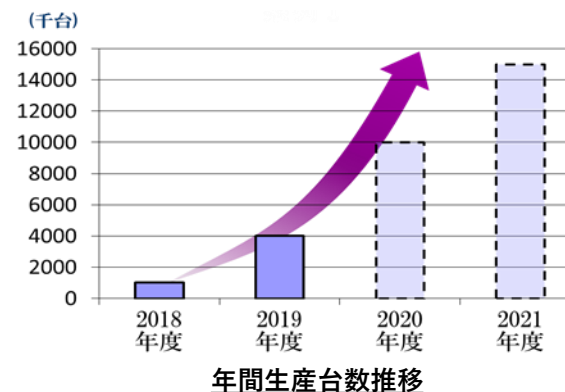
- 昨年度比約2倍を超える生産まで成長

増産に向けインド工場の生産ライン拡大へ

- 年内に月産50~60万台を目標に生産ライン拡大予定
- ボイスコイルやコーン紙の内製化によるコスト競争力強化

第2工場、第3工場の設立を計画中

- 2020年以降第2工場、第3工場設立を視野に入れ、計画中

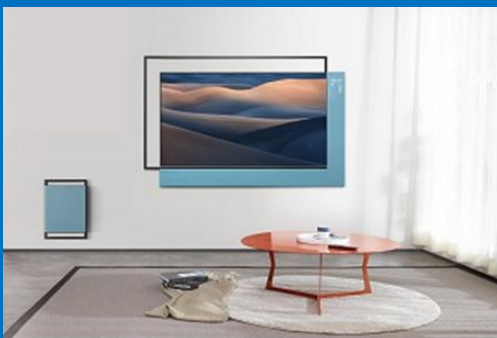


成長に向けた取り組みについて(OEM事業)

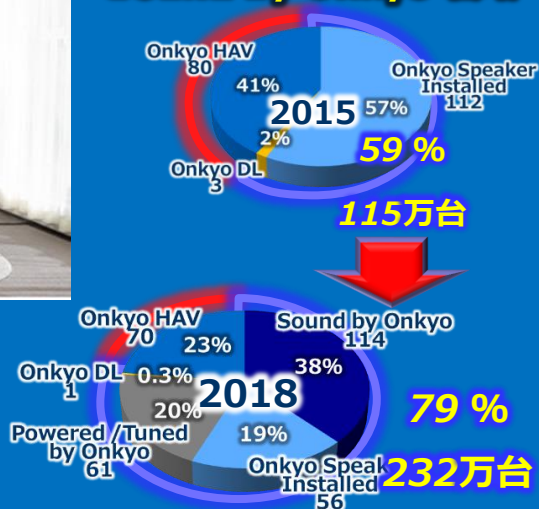
サブブランド戦略の展開

TVへのスピーカー供給・音質監修のグローバル展開強化

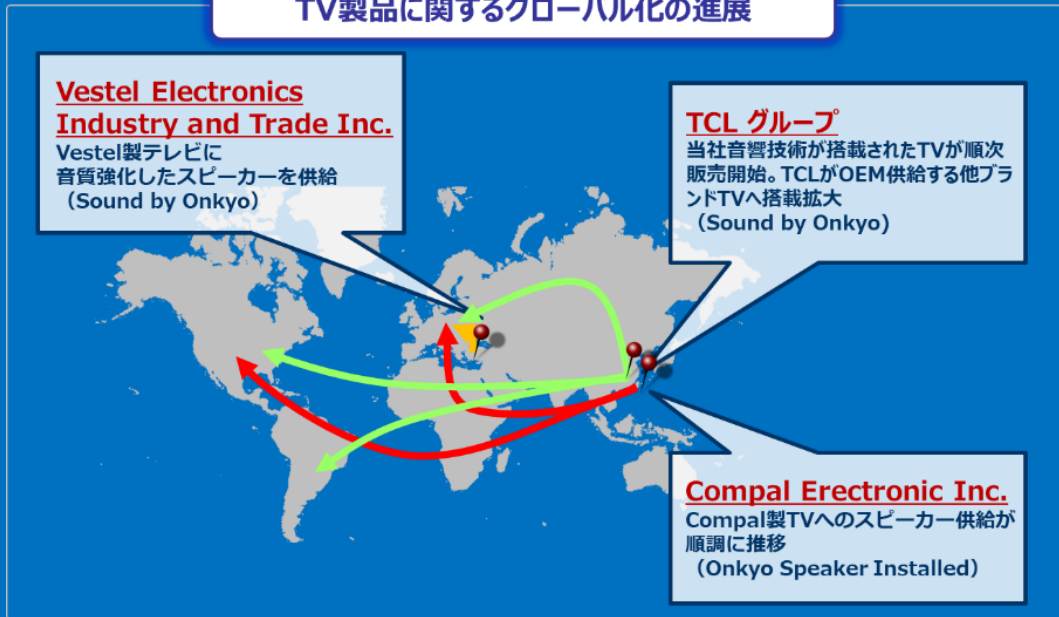
- 2018年度のTV市場への出荷数量は前年比2.4倍の出荷を達成
- 2019年度 第1四半期も堅調に推移



Sound by Onkyo 戦略



TV製品に関するグローバル化の進展



河合楽器のハイブリッドピアノ「NOVUS NV5」に加振器「Vibtone」/スピーカー採用



低音用加振器



成長に向けた取り組みについて(OEM事業)

新技術の開発

新技術開発の進捗度



	企画	開発	製品化	量産化	
		●			
		●			
		→		● 2019年内予定	
		→			●

- バランスド・アーマチュア ポタフェス参考出品で大好評
- バイオミメティクス/大音量小型モジュールは早期量産化を目指し計画中

成長に向けた取り組みについて(デジタルライフ事業)

異業種とのコラボ製品、新規市場製品がいずれも好調

■ サマンサワイヤレスイヤホン



5月31日から店舗販売開始
当初計画を上回る受注を獲得



サマンサタバサデラックスサマンサタバサプチチョイス
新宿マルイ本館店

■ アニメコラボ製品



Tokyo 7th シスターズ カスタムインイヤーモニター
©Donuts Co.Ltd. All rights reserved.



ガールズアンドパンツァー 最終章 デジタルオーディオプレーヤー
©Donuts Co.Ltd. All rights reserved.

■ ゲーミング市場に新ブランド製品を販売



SHIDOゲーミングヘッドセット&USB
コントロールアンプをクラウドファンディ
ングにて販売。当初目標の1000%を超
える支援額を獲得、8月下旬から順次
出荷開始予定

支援者数：1,697人
支援金額：21,653,468円

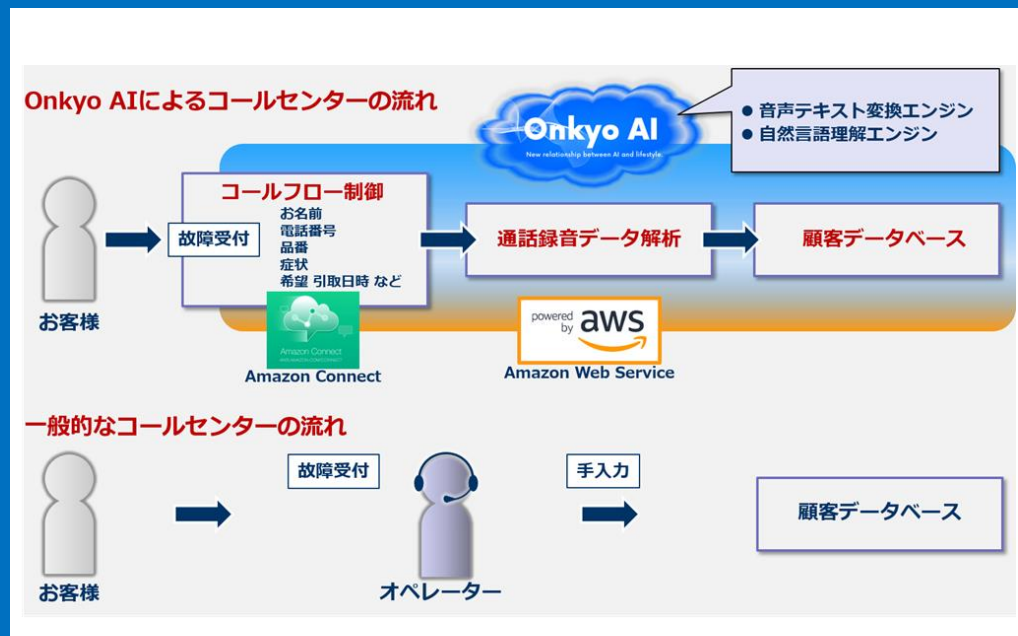
成長に向けた取り組みについて(デジタルライフ事業)

AI/IoTの取り組み

進化した「Onkyo AI」 コールセンター業務に活用

コールセンター電話窓口業務の効率化

- 故障受付～データベース登録までを無人化
- Amazon Connectの採用による柔軟なリユース案



- コールセンター業務における「Onkyo AI」の活用を年内実用化予定

成長に向けた取り組みについて(デジタルライフ事業)

AI/IoTの取り組み

ロボットスタート社との資本業務提携に関する基本合意



ロボットスタート
robot start inc.

AI/IoTを活用したボイスユーザーインターフェース市場に向けて

- Audiostart（文字の音声化技術と音声広告配信技術）の活用した共同事業の構築
- VUIによる音声データベース検索システム構築
- 音楽や音声コンテンツを楽しめる新たな端末の開発
- コミュニケーションロボット、サービスロボットへの当社スピーカーおよび新開発マイクの搭載

成長に向けた取り組みについて(デジタルライフ事業)

オンキョースポーツの取り組み

アスリート向けの新サービスKLOTO/クロトのサービス開始

- Catapult社のアスリートトラッキングシステムを使用
- スポーツ用トラッキングシステムと食トレを組み合わせることで競技をサポート



SPORTEC×HEALTH&FITNESS JAPANへの出展

- 出展内容
 - AI搭載食事トレーニングアプリ「food coach」
 - 競技デジタルアナライズサービス「KLOTO(クロト)」
 - アンチドーピングインデックス
- 展示会併設セミナーは、全て満席御礼



ONKYO®

本資料に記載されている業績や見込、将来に関する記述等は資料作成時点において入手可能な当社およびその関係会社の情報に基づいて予測し得る範囲内で当社が作成したものであります。これらの記述はリスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を保証いたしません。実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

なお、記載されている会社名および製品・技術名・役務名等は、各社の登録商標または商標です。